

禁帯出の閉架資料をパソコン画面で！

<https://www.fukkoku.net/ryukei>

KinoDenで読める 龍溪書舎 電子書籍版

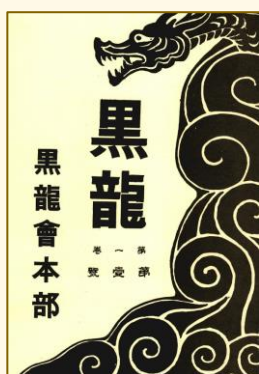


電子復刻
fukkoku.net

良書を絶版がない世界へ

2021年9月現在コンテンツ

黒龍 全6巻 同時アクセス数1: 120,000円（本体）



黒龍 全6巻 同時アクセス1: 120,000円（本体）

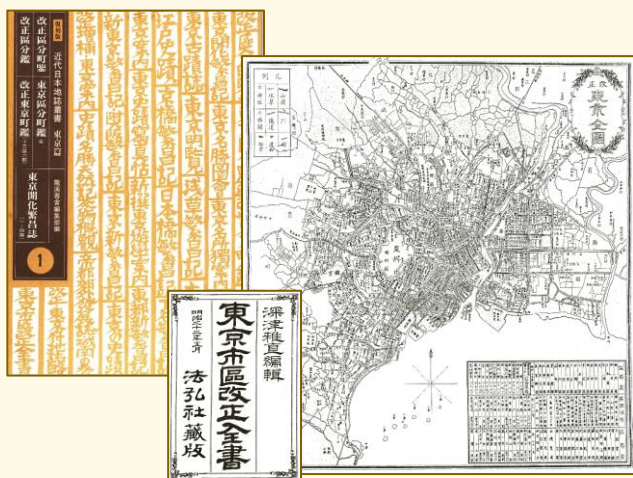
黒龍会本部 編／解題 松沢哲成

第1巻第1号（明治34年5月）～第8巻第3号（明治41年3月）

『黒龍』は明治34年2月、内田良平によって結成されたアジア主義団体、黒龍会の機関誌として同年5月に創刊。月刊誌として明治41年3月号までの間に37冊が刊行された。黒龍会の日露開戦・日韓合邦などの政治主張・行動は同会の侵略性とその援護・宣伝を目的とした本誌の性格を示すが、それ故に又その積極さは侵略の対象地としての当時のロシア・中国「（満州）」・朝鮮諸地域に関する、詳細な「事情」の収集、分析、政策的提言を伴っている。本書はその意味でもアジア主義の思想的源流としての資料的価値はもとより、当時の東アジアの「事情」や明治期の外国観（＝日本観）を知る上でも好個の史料である。

近代日本地誌叢書 東京編 全42巻

同時アクセス数1: 210,000円（本体）



近代日本地誌叢書・東京編 全42巻

同時アクセス1: 210,000円（本体）

〔復刻版、古書扱い図書〕 龍溪書舎編集部 編

明治・大正の東京景観と風俗・行政を究める！

◆明治11年（1878）11月の区郡制改正を中心として、明治後期および大正時代にまで及ぶ、東京の生活に関わる資料55点をはじめ総集した。

◆収録した資料は、いずれも編著者・出典の確定したもののみで、さらに現在ではほとんど入手困難な文献を対象とした。

◆従来の政治・経済上の区分けを排し、町鑑・繁盛記物・地理地名・公文書・商工資料・災害・都市計画・風俗・庶民生活・郷土史など広範な分野にまで収録範囲を広げた。

◆付載された統計図表・地図・写真等はすべて原本に従って復刻し歴史資料としての活用に具えた。

◆専門家・研究者のみならず、文学者・考証家および各図書館・研究機関においても利用しうる体裁とした。

近世風俗・地誌叢書 全15巻

同時アクセス数1: 100,000円（本体）

2021年10月発売開始



近世風俗・地誌叢書 全15巻

同時アクセス1: 100,000円（本体）

立命館大学図書館所蔵善本復刻叢書（第1期）

建都1200年記念企画

解題 衣笠安喜（代表）、伊藤宗裕、鈴木祥二、中森 洋、樋爪 修
学園創設100周年を迎えようとする立命館大学所蔵の「西園寺文庫」のなかから京都関係のものを主に江戸時代に刊行された地誌、名所記、年中行事絵図を『近世風俗・地誌叢書』として、影印刊行。建都から今日に至る1200年間、京都は学問と文化の都であり、伝統文化を再生した新たな文化を創造する歴史を刻み続けてきた。出版文化の上でも、特に江戸時代の京都はその中心であり、文化情報の発信地であった。

■一次資料ですので、以下をご確認ください■

- ・OCR認識率が低く本文検索は行えません。目次、ノンブルも当時のままです。
- ・一部の原本に破れや切れ、判読できない文字の薄れやぼやけの箇所があります。
- ・古地図や表などを大判で入れており、該当頁は見開きではなく1頁表示でご覧ください。
- ・見開き頁の中央部分が若干短くなり、文字や図版が見切れる箇所があります。

近代日本学術用語集成 全33巻

【セット特価】同時アクセス数1: 300,000円（本体）

2021年10月発売開始予定

近代日本学術用語集成 明治編 全7巻

同時アクセス1: 40,000円（本体）

近代文明の普及は、その文明の利器やその背景にある文化の国民的理解なくしては成立しなかった。漢字文化圏に育成されてきた日本は、明治維新後、それら文明や文化を日本語で語り、日本語で記述することができたことにより、この普及に成功した。新しい概念を伝統的な言葉の中で学びとることがいかに困難であり、いかに重要であるかは、われわれが今日なお外国文化の摂取に際して体験しているところであるが、しかし明治の日本人がそのために払った努力は、まことに偉大であった。

ここに、明治期に編纂された主要学術用語集を復刻し、その苦心の跡を顧み、わが国近代文化の形成を再検討する機会を広げんとする、刊行者の素志を汲む学徒の多数出現を期待してやまない。

近代日本学術用語集成 大正編 全12巻/17冊

同時アクセス1: 120,000円（本体）

第1期全7巻において明治の文明開化期を中心に、西欧との出会いの時代を点検した。

第2期は、大正期を中心に、いよいよ先進諸国に伍そうとして、諸国に深くかかわって文化の具体的な事象の追求に向った諸先輩の努力を集積した。そこには、軍事用語から社会主義用語まで、科学技術面では、歯科学、鉄道用語におよぶ広がりを持つとともに、第1期に収録した諸編の展開を示す改訂版も多く採録した。これらを比較検討するとき、日本の学術の進歩の足跡を実感できるよう。

近代日本学術用語集成 大正追補編 全8巻/9冊

同時アクセス1: 60,000円（本体）

第2期では、いささか視野をひろげたために、選択した用語集が拡散し、分野によって濃淡を生じた。諸方を探索し、未だ充分とはいえないが、漸く研究者のご関心に応えられる諸冊を採集することができた。

これらは、われらが次に予定する昭和前期の学術解明への「かけはし」とする意味もある。

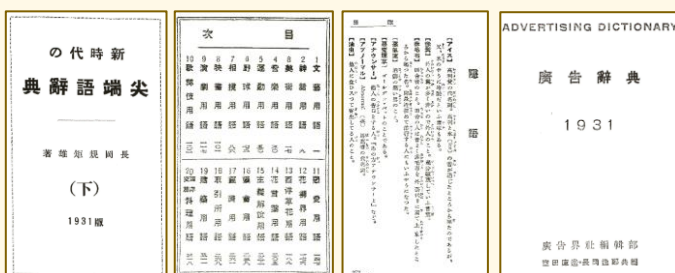
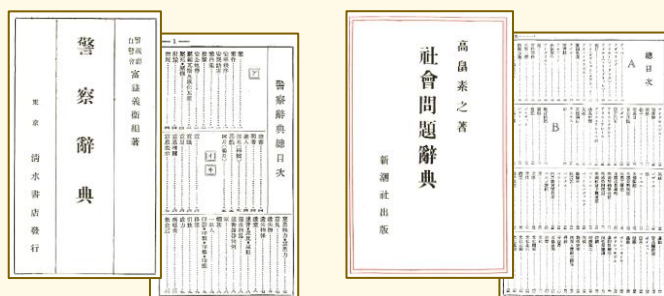
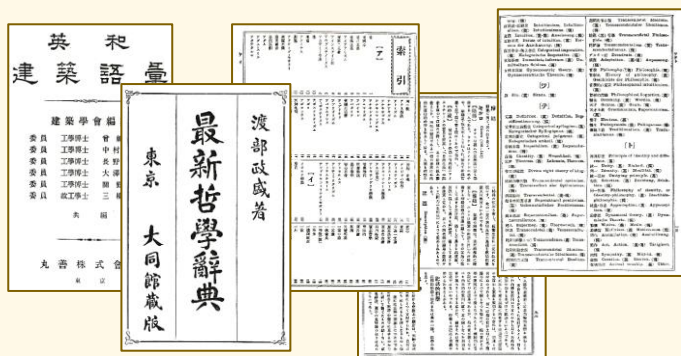
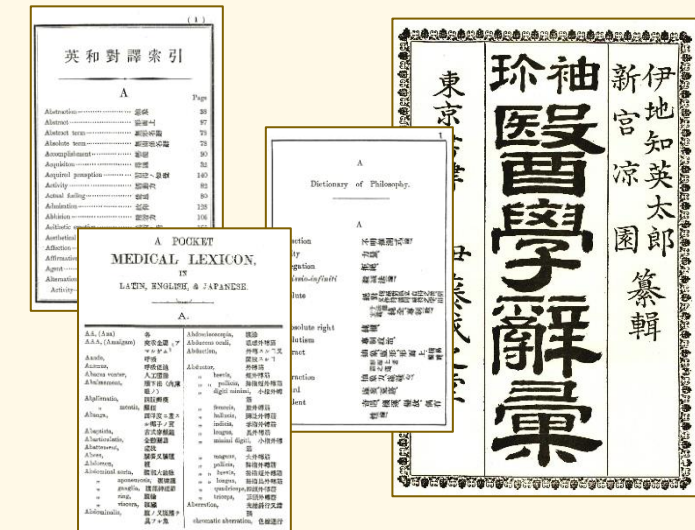
近代日本学術用語集成 昭和編【1】全6巻/12冊

同時アクセス1: 100,000円（本体）

20世紀第2・四半世紀本邦学術の進歩発展を、学術用語上で再検証する段階に到ったのである。今回は昭和一桁代の著作から、時勢に即した用語辞典類を挙げてみた。明治以来の西欧文明導入の流れがひとまず頂点に達するのは昭和前期である。大戦を隔てて、戦後日本の国際化を新たな波と理解することも出来、少なくとも戦前の直列的継承・拡大発展とは異なると認識すべきである。それを現代の風と呼ぶならば、近代の流れは断絶へ向けて、最後の実りの秋を迎えつつあるといえよう。この時期、われわれの先輩が学び蓄積したものは何だったか。分析が待たれるのである。

■一次資料ですので、以下をご確認ください■

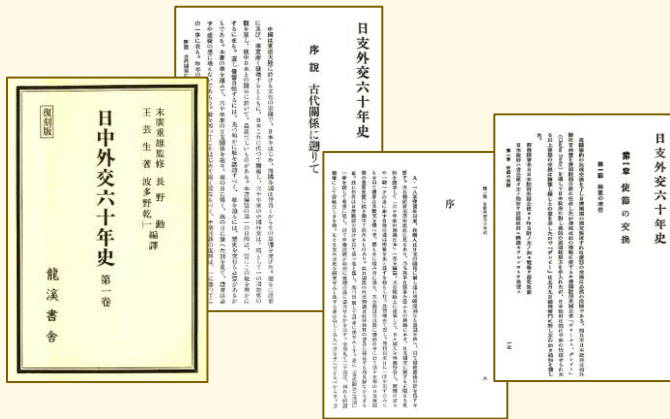
- ・OCR認識率が低く本文検索は行えません。
- ・目次、ノンブルも当時のままです。
- ・一部の原本に破れや切れ、判読できない文字の薄れやぼやけの箇所があります。
- ・古地図や表などを大判で入れており、該当頁は見開きではなく1頁表示でご覧ください。
- ・見開き頁の中央部分が若干短くなり、文字や図版が見切れる箇所があります。



日中外交六十年史 全4巻

同時アクセス1: 50,000円（本体）

2021年10月発売開始予定



日中外交六十年史 全4巻

同時アクセス1: 50,000円（本体）

王芸生 著／監修 末廣重雄、
編訳 長野 勲、波多野乾一／解題 大畑篤四郎

【検索可能な目次付き】

今日、日中関係史についての関心は極めて高いのであるが、全体を展望した概説書は意外に少ない。本書は、戦前中国で「六十年來中国與日本」として公刊され、長野勲・波多野乾一両氏によって昭和8～11年にかけて刊行された「日中外交六十年史」に、解題を附して復刻したものである。古代日中関係から説きおこし、特に日清修好條規の締結からパリ講和会議に至る日中外交史を編述。日中関係史を専門とする研究者にとって、必読の書といえる。

日中外交六十年史 全4巻 目次

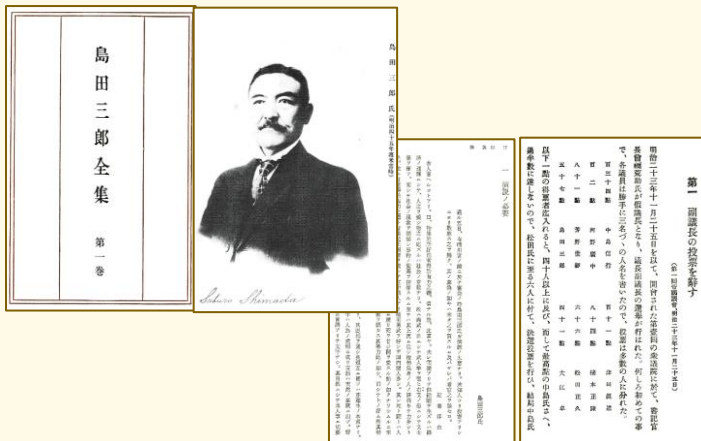
内田康哉序
末廣重雄序
陳振先序
張熾章序
凡例
編訳者序
序説 古代関係に遡りて
第1章 日支初めて修好条約を締結す
第1節 柳原前光初めて天津に至る
第2節 總理衙門条約締結を奏請す
第3節 曾李均しく締約を主張
第4節 日本使臣再び天津に至る
第5節 日本側西洋の例に倣はんことを力争す
第6節 日支修好条約
第7節 通商章程要点
第8節 成約後の曲折
第9節 日使来清し批准書を交換し朝覲す
第10節 副島稽臣の外交論

第6章 朝鮮事件
第1節 日清戦争の序幕
第2節 変兵宮闕を犯す
第3節 日清両国の出兵
第4節 大院君の就縛
第5節 李鴻章変乱平定経過を上奏す
第6節 日韓濟物浦条約
第7節 大院君を保定に幽す
第8節 朝鮮の練兵
第9節 鄧承修大官を煙台に駐在せしめ以て日本に對せんことを奏請す
第10節 張佩綸東征を主張す
第11節 朝鮮善後六策
第12節 張謇と袁世凱
第7章 清韓商務規約
第1節 宗族関係の證拠文件
第2節 商務規約の締結
第8章 甲申の変と日清衝突

島田三郎全集 全7巻

同時アクセス数1: 120,000円（本体）

2021年10月発売開始予定



島田三郎全集 全7巻

同時アクセス1: 120,000円（本体）

島田三郎全集編集委員会（代表 内山秀夫）編

【検索可能な目次付き】

本全集は、大正13年から14年に、吉野作造、山室軍平、木下尚江が編集した全5巻に、新たに「社会主義及び日本改造」ならびに「演説、序文、回顧・伝記」等の新編集を加え、より完全を期したものである。

嘉永5年に幕臣の家に生まれ、多難な自己啓蒙の道を辿り、わが国立憲政治の確立に心魂を注ぎ、党派派略を拒否する清新の生涯を送った政治家島田三郎は、「横浜毎日新聞」社長として、常に建設的批判精神を一貫した。また、星亨の弾劾、足尾鉍毒糾弾、廃娼運動・労働運動推進、シーメンス事件訴追等、彼の正義の意志はわが国の近代史を飾る足跡を遺しており、正に「明治における良心」を具現化した人物であった。

島田三郎全集 全7巻 目次テキスト

島田三郎全集 第1巻 議会演説集
議会演説集の巻頭に
1 副議長の投票を辞す……(第1議会)
2 樺山海軍大臣の演説に対して……(第2議会)
3 選挙干渉に関する上奏案……(第3議会)
4 解散に関する決議案……(第6議会)
5 上奏案……(第12議会)
6 予算案……(第13議会)
7 尾崎行雄君の言辞に対する緊急動機……(第14議会)
8 足尾鉍毒事件に就て……(第15議会)
9 決議案……(第15議会)
10 骨牌税法案……(第16議会)
11 予算案……(第18議会)
12 非常特別税法改正法律案……(第21議会)
13 鉄道国有法案……(第22議会)
14 塩専売法廃止法律案……(第23議会)
15 国民の権利及議会の体面に関する質問

島田三郎全集 第5巻 議会と政党
政党論
国会第一期の政治意見
政党合同問題に関して予の精神を明にす
第一議会の経過
現内閣は軍備拡張の大任を托するの信用ありや
議会解散の理由書を読む
条約勘行及監獄費に関する意見
伊藤内閣及び自由党
伊藤内閣破裂の真原因
新内閣に望む
樺山内相に呈す
再び樺山内相に呈し内閣大臣の責任を論ず
進歩党代議士会に於ける演説
松方首相に呈す
井上蔵相に呈す
憲政本党を脱せし理由
政党の現状、経歴、意思、争点

外事警察概況 全8巻+附図

同時アクセス数1: 95,000円（本体）

2021年10月発売開始予定



外事警察概況 全8巻+附図

同時アクセス1: 95,000円（本体）

内務省警保局 編／解題 石堂清倫 昭和10年～17年

【検索可能な目次付き】

本資料は『外事警察法』とならび外事警察関係の主要な資料である。昭和10年代の政治警察当局は、日本の共産主義運動とコミンテルンの接点の破壊に重要な意義を認め、スパイ政策と拷問制度をその手段として用いたことは有名な事実である。もちろん当局としては、こうしたスパイ政策を推知させるような証拠は一つも残していない。しかし、彼らがもっとも主要な点を秘匿したうえで編集した外事警察記録をつうじて歴代の当局がそれぞれの時期に、どこに着眼していたかという事実と運動そのものの歴史とを対比することは、ある程度可能である。その意味で本資料は昭和10年から17年までの政治史理解必備資料である。例えば、『昭和17年中ニ於ケル外事警察概況』には外事警察事件としてリヒャルト・ゾルゲと尾崎秀実の「国際諜報団事件」が大々的にとりあげられている。総4,500頁、附図25点

外事警察概況 全8巻+附図 目次テキスト

米国関係

第1 公館及公館員の状況

- 1、大使館
- 2、東京総領事館
- 3、大阪領事館
- 4、神戸領事館
- 5、長崎領事館
- 6、名古屋領事館
- 7、在留米国人に対する引揚勧告状況

第2 在留米国人の容疑行動

- 1、通信員の容疑行動
- 2、宣教師の容疑行動
- 3、米国関係主要商社の動静
- 4、その他

第3 犯罪事件

- 1、通信員の陸軍刑法違反事件
- 2、フォード自動車会社員の外国為替管理法違反事件

ソ連邦関係

第1 大使館の状況

- 2、大使館の一般状況
- 3、大使館の諜報活動の状況
- 4、邦人使用人の解雇及雇入と管内防諜強化
- 5、各地領事館状況
- 6、通商代表部の状況
- 7、タス通信社東京支局の状況
- 8、インツェリスト日本支社の状況
- 9、独ソ開戦と公館員等の引揚状況
- 10、敦賀領事館移転問題
- 11、大使館員の諜報行為現行逮捕

第2 ソ連邦の対日策謀及極東政策

- 2、北樺太漁場に於ける諸状況
- 3、漁船拿捕及拿捕船員に対するスパイ工作

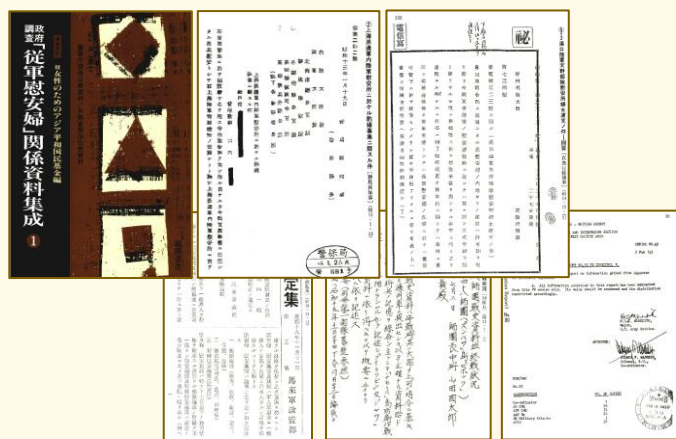
第3 ソ連邦船の漂着及船体処理状況

- 1、ソ連船等漂着状況
- 2、インディガ号処理状況

政府調査「従軍慰安婦」関係資料集成 全5巻

同時アクセス数1: 100,000円（本体）

2021年10月発売開始予定



政府調査「従軍慰安婦」関係資料集成 全5巻

同時アクセス1: 100,000円（本体）

（財）女性のためのアジア平和国民基金 編、
編集（代表）後藤乾一、高崎宗司、和田春樹

【検索可能な目次付き】

日本政府は、「慰安婦問題」の真実を明らかにして歴史の教訓とするためには、資料の発掘、調査、研究が必要であると、平成3年より8年にかけて3次にわたり、内外の諸機関の協力を得て総合調査を行った。そして、その資料を永久保存すると共に、この問題の研究に関心を持つ内外の人々に全公開することを決定した。

政府調査「従軍慰安婦」関係資料集成 全5巻 目次テキスト

政府・基金公表文書

- 1 朝鮮半島出身のいわゆる従軍慰安婦問題について
- 2 いわゆる従軍慰安婦問題について
- 3 慰安婦関係調査結果発表に関する内閣官房長官談話
- 4 「従軍慰安婦」にされた人々

内閣総理大臣の手紙

女性のためのアジア平和国民基金理事長の手紙

警察庁関係公表資料

- ① 不良分子ノ渡支取締方ニ関スル件〔外務次官〕（昭和12・8・31）
- ② 上海派遣軍内陸軍慰安所ニ於ケル酌婦募集ニ関スル件〔群馬県知事〕（昭和13・1・19）
- ③ 北支派遣軍慰安酌婦募集ニ関スル件〔山形県知事〕（昭和13・1・25）
- ④ 支那渡航婦女募集取締ニ関スル件〔高知県知事〕（昭和13・1・25）

- ② 沖縄本島ノ状況〔歩兵第22連隊附軍医大尉〕（昭和21・1・9）
- ③ 南部セレベス売淫施設（慰安所）調査〔セレベス民政第2復員班長〕（昭和21・6・20）
- ④ 法務部（GHQ）少佐からの記録要求の件〔終戦連絡事務局連絡官〕（昭和22・1・9）
- ⑤ 「俘虜名票」に関する調査結果概要〔厚生省社会・援護局〕（平5・10・8）

第一巻 警察庁関係公表資料

第二巻 防衛庁関係公表資料

第四巻 国立公文書館・大英帝国戦争博物館所蔵資料

第五巻 米国立公文書館・国立国会図書館所蔵資料

米国立公文書館・国立国会図書館所蔵資料

1. 連合軍翻訳通訳部局（ATIS）関係文書

1. 尋問調査（Interrogation Report）No.24